2023年11月発行　第42号

けやきだより

社会福祉法人みらい

今月号の写真　『けやき祭りで着用してきた法被』

来たる11月25日（土）、多治見市立昭和小学校の体育館をお借りして、第17回目となる「けやき祭り」を開催いたします。けやき祭りは、地域の方に利用者さんのことや法人の取り組みを知っていただくために、けやき開所2年目の平成16年に第1回目を開催しました。当時は、単管パイプ、クランプ、コンパネを駆使して、事業所前の駐車場に保護者会のお父様方と男性職員総出で、毎年ステージを組み立てていました。模擬店は、保護者会の方々が毎年試行錯誤を繰り返し、過去にはけやき餅や豚汁など、様々なメニューを皆様にお楽しみいただいた歴史があります。けやき祭りの調理部門を一手に引き受けていただいていた保護者会の皆様には、今年はお子様と共に祭りを存分に楽しんでいただきます。利用者さんと職員で、精一杯地域の皆様のおもてなしをさせていただき、皆様と共にこの地域で歩みを進めて参りたいと思います。

事業所活動紹介 Uライフ「夏休みの思い出」

児童が利用するUライフでは、今年の夏も汗をたくさんかきながら元気いっぱい過ごしました。夏休みの利用は、「今日も暑いね」と笑い合って1日が始まります。

みんなが大好きなプールで、水遊びをしました。水着に着替えて準備体操をし、安全を守るために、毎日約束事の確認をしました。プールには、ゆっくり入る方、大胆に水しぶきを上げて入る方、皆様個性がありました。お友達と水をかけ合いっこしたり、プカプカと浮かんでみたりするなど、体全体を動かしながら、暑さを忘れるほど夢中に遊びました。

夏といえばかき氷です。Uライフでもかき氷を作って食べました。かき氷機を使って、力いっぱい腕を動かして作ることができました。いちご、メロン、ブルーハワイから、自分で好きなシロップを選びました。冷たいという表情をしながらも、食感や味を楽しみながら、「おいしい」と笑顔いっぱいで食べていました。

夏の風物詩である花火の制作もしました。折り紙の色を選んでビリビリと破り、指先を上手に使って、台紙にペタッと貼りました。個性豊かな花火を作ることができました。他にも、紫陽花の制作やフルーチェ作り、ダンスなどの活動を行い、夏休みを満喫しました。

利用児と保護者の皆様のご協力のおかげで、事故や怪我なく楽しく夏休みを過ごすことができました。これからも安全を守り、安心して笑顔でUライフを利用していただくことができるように努めて参ります。

Uライフ　杉山　杏奈

事業所活動紹介 CSポート「誕生日会」

CSポートでは、グループホームごとに、利用者さんの誕生月に誕生日会を開催しております。

コロナ禍で開催できない時もありましたが、昨年再開することができました。利用者さんも、楽しみにしてみえたことと思います。グループホームでの誕生日会は、各ホームの担当職員が、利用者さんから希望のメニューをお聞きして、日時等の企画を行います。

誕生日会では、普段の献立にはないような、お寿司やピザ、ケンタッキー・フライド・チキン、ケーキなども食べることができるので、皆さん、何日も前から楽しみにしてみえます。特に、ケーキを選ぶときは目が輝いています。ホームにもよりますが、誕生日会当日には、ちょっとした飾り付けをして、誕生日の歌を歌って皆でお祝いをします。

テーブルの上もいつもより華やかになり、携帯で写真を撮られる方もみえます。誕生日の利用者さんは、他の利用者さんから、「〇〇さん、誕生日おめでとう」と声をかけてもらい、お互い自然と笑顔になります。そんな笑顔を見ると、私たちも、本当に嬉しい気持ちになります。ある利用者さんは、「涙が出るくらい嬉しかったです」と喜ばれていました。

今後は、以前のように外食もできるようになりますので、これからも利用者さんに喜んでもらえるような誕生日会を企画し、開催していきたいと思います。

CSポート　後藤　直登

けやき可児祭りを開催しました。

9月16日（土）に第5回けやき可児祭りを開催しました。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、屋外での飲食のみという形でしたが、今年度は屋外に加えて館内での飲食も可能とし、よりお祭りを楽しんでいただける形での開催となりました。

今年のコンセプトは「地域の子どもたちにけやき可児を知ってもらう」ということで、近隣の保育園や児童施設、放課後等デイサービスなどにもチラシを配布させていただきました。また地域の方にも広く知ってもらうため、保護者会の協力もあって、広見地区でけやき可児祭りの開催を地域の回覧板で回していただきました。その他にインスタグラムでの告知や、ちょうど同時期にけやきカフェ可児市役所店がネットニュースで記事となり、合わせてけやき可児祭りのことも告知することができました。

お祭りの準備では、館内でもお客さんに楽しんでもらおうと、利用者さんの描いたイラストの万国旗を食堂に飾ったり、館内をピカピカに掃除したりと、利用者さんと一緒にお客さんを迎える準備に取り組みました。また、利用者さんと職員で、けやきカフェで当日販売予定をしているかき氷の特別メニューの中身を一緒に考えました。最終的にいちごや、パイナップル、チョコレートなどを盛り込んだ『愛を届けるよストロベリースイーツかき氷』が完成し、利用者さんから「すごい！売れるといいね」という言葉も聞かれました。

当日は、とってもよく晴れて、暑い中での開催となりました。宣伝活動の効果もあってか、多くのお客様の来場がありました。子ども同士や、家族で楽しまれるお客様も多く見られました。射的やお菓子釣り、プラ

板などの模擬店も、列ができるほど賑わっていました。射的やお菓子釣りでは、お客さんが的を倒したりお菓子を釣り上げると、「すごい！上手だね」など、利用者さんも一生懸命盛り上げてくれました。放課後等デイサービスの活動でいらっしゃったお子様などもみえ、射的やプラ版などを何度も楽しまれている様子がたくさん見られました。

保護者会ブースでは、焼きそばやちらし寿司、ポップコーン、フランクフルトなどを販売しました。焼きそば、ちらし寿司、飲み物の売れ行きが好調でした。けやきカフェで利用者さんと一緒に考えたかき氷は、暑さもあって、11時半頃には売り切れるほどの人気ぶりでした。

けやき可児祭りの目玉企画である抽選会では、今年はディズニーペアチケット、肉のヒグチ様から提供いただいたカレーギフトセットなど、豪華景品を用意しました。抽選番号が発表されるたびに、歓声が聞かれ、来場してくれたお客様にお楽しみいただけたのではないかと思います。

利用者さん達は、模擬店で販売活動を行ったり、会場の清掃をしたり、お祭りをみんなで盛り上げました。たくさんの来場者がみえたことで表情も晴れやかで、暑い中でも接客を頑張りました。

館内に設置した法人紹介や事業所の活動パネルなどを熱心に見られる方もみえ、楽しみの中で法人やけやき可児の取り組みを知っていただく機会となったのであれば幸いです。

けやき可児　安藤　健太

利用者紹介

みらいの輝人
～キラビト～

第2けやき利用者
吉田　悠真さん

Ｑ１：自己紹介をお願いします。

吉田悠真です。絵を描いたり、玩具で遊ぶのが好きです。東濃特別支援学校の中等部では、木工作業をやったことがあります。高等部では手工芸で手織りをやっていました。

Ｑ２：今やっている木工作業について教えてください。

今は、色々な動物たちの置物を作ったり、それ以外にもツリーとか、お雛様を作っています。糸のこで切ったり、やすりでピカピカにしたりするのが楽しいです。細い三角の先を切る時は難しいです。

Ｑ３：休日、おうちではどのように過ごしていますか？

テレビを観たり、絵を描いたり、玩具で遊んだりしています。プラレール、ヒーロー玩具なんかです。自分のキャラクターを思いつくと絵を描いています。いろいろなキャラクターを参考にして描いています。

Ｑ４：今後やってみたいことや目標はありますか？

自分で考えたデザインや、好きなクワガタ、カブトムシなどの虫の形の木工作品を作っていきたいです。木にマグネットで虫の作品をくっつけて、子どもたちが遊べるようにしたいです。別の夢もあって、チャギントンレストランや、自分が考えたヒーローでヒーロー撮影をしたいです。チャギントンレストランは、三階建ての席で、大きなテレビでアニメが流れたりします。食堂列車で外を眺めながらおいしい料理を食べてもらいたいです。でも、木工では僕が必要だって言われているから、続けようと思っています。

☆第２けやき職員より
吉田さんは、どの作業も丁寧で正確です。特に、糸のこ作業は誰も真似できないほど綺麗です。アイデアも豊富で、今の木工班になくてはならない存在です。木工班の製品は、けやき祭りで販売をスタートしますので、ぜひ見にいらしてください。

第２けやき　中島　絵里香

特集「グループホームでの生活」

CSポートでは、多治見市内の「ならホーム」「ぶなホーム1、2、3」「とちの木ホーム」「にれホーム」可児市内の「かりんホーム」を運営しており、各ホームで合わせて40名の利用者の方が暮らしています。「なら」と「とちの木」はバリアフリーの戸建て、「ぶな」「にれ」「かりん」はマンションタイプです。それぞれの利用者さんの年齢や特性に合った場所で、グループホーム専任の職員のサポートを受けながら、共同で生活しています。

グループホームでの生活は、みなさんが気持ちよく過ごすため、ある程度スケジュールが決まっています。日中の活動から帰宅し、洗濯物の片付け等を済ませると、食事が始まります。食堂で一緒に食べる方もみえれば、自室で食べる方もみえます。食後は余暇の時間です。各々がテレビを観たり趣味など、好きなことをして過ごしています。小遣いの管理や整容に関することなど、職員と一緒に取り組む方もいます。生活の中で気になることや困ったことがあったら、この時間に職員に相談をしています。

最近は、新型コロナウイルス流行以前のようにお誕生日会をしたり、長期休暇にショッピングモールに外出したりできるようになりました。グループホームは生活の場です。みなさんがリラックスして安心して過ごせるよう、みなさんの希望を聞きながら、寄り添った支援ができるように努めています。

課長　山本　亜弥

寄付等頂いた皆様の紹介

ボランティアをして頂いた方

笠瀬　美里　　林　冬美
玉野　真衣　　二宮　果凜
廣中　咲希

（順不同、敬称略）

岐阜県こどもの安心・安全対策支援事業費補助金をいただきました。

岐阜県より、「岐阜県こどもの安心・安全対策支援事業費補助金」をいただき、児童の送迎に使用している法人の公用車5台に、置き去り防止装置を取り付けました。利用者の安全を守るために万全の対策を講じ、運用して参ります。誠にありがとうございました。

編集後記

暑い夏が過ぎ、心地よい秋風が訪れました。紅葉の時期は例年よりも遅いようですが、本誌が発刊される頃にはピークを迎えていることでしょう。

表紙でもお伝えしておりますが、今年も「けやき祭り」を開催する運びとなりました。昨年は大変な盛況をいただきましたが、混雑によるご迷惑をおかけしました。今年は受付を増やして、スムーズなご入場ができるように対応いたします。飲食物・グッズ販売や抽選会、ゲームコーナーに加え、今年はステージ発表も行います。是非ご来場ください。

齋藤　英樹

社会福祉法人みらい　　けやきだより第４２号

発行日　2023年11月
発行者　社会福祉法人みらい事務局
〒507-0827岐阜県多治見市平和町6-364
TEL　0572(22)1011

法人ホームページはこちらから